

目次

contents

はじめに

第1章

在宅介護支援センターとコーディネート

第1節 在宅介護支援センターの役割と機能

1. 在宅介護支援センターの「これまで」と「これから」 4
2. 基幹型在宅介護支援センターの役割と機能 8
3. 地域型在宅介護支援センターの役割と機能 12
4. 在宅介護支援センターの「窓口・相談・調整」機能 16
5. 在宅介護支援センターの「介護予防と生活支援」機能 20
6. 在宅介護支援センターは「新しい人材」育成の場 24

第2節 地域支援システムとコーディネートの視点と手法

1. 地域支援システムづくりとコーディネートの視点 30
2. 利用者ニーズとコーディネーターの視点と手法 34
3. 「人、サービス、地域」をつなぐコーディネートの手法 38
4. 「3つの流れ」(方向、情報、連携)を生み出すコーディネートの手法 42
5. 「地域コミュニケーション」を生み出すコーディネートの手法 46

第2章

こうすればいい、コーディネート

第1節 専門機関・事業者間コーディネート術

1. 介護サービス事業者(訪問介護、通所介護、訪問入浴、配食、移送等)のコーディネート 54
2. 医療機関(病院、医院、歯科医、訪問看護、訪問リハ、薬局等)のコーディネート 58
3. 病院の入・退院と老人保健施設の入・退所のコーディネート 62
4. 福祉用具対応のコーディネート 66
5. 住宅改修対応のコーディネート 70
6. 痴呆性高齢者等の権利擁護の対応コーディネート 74

第2節 家族・親族間コーディネート術

1. 家族の介護力の把握が重要な「同居介護」型 80
2. 近隣資源の十分な活用が効果的な「近距離介護」型 84
3. コミュニケーションがポイントの「遠距離介護」型 88
4. 暮らし方に応じた柔軟な対応の「独居高齢者」型 92
5. きめ細かい支援で共倒れを予防する「老老介護」型 96

第3節 行政・専門機関等コーディネート術

1. 複雑な背景に配慮し、一歩踏み込む必要のある「生活保護」対応 102
2. 問題解決に向け、ともに考える姿勢が求められる「虐待事例、接遇困難事例」 106
3. 地域の目をチェック機能として活用する「緊急事態、生活トラブル」 110

第4節 地域資源・社会資源のコーディネート術

1. NPOの多様性と市民密着性を生かすコーディネート 116
2. 住民参加型在宅福祉サービスを生かすコーディネート 120
3. 「地域団体、趣味サークル、生涯学習サークル」を生かすコーディネート 124
4. 「地域資源(商店街、商工会、農協、生協)」を生かすコーディネート 128
5. 「世代間交流と公的施設」生かすコーディネート 132

第3章

身につけよう、伸ばそう、生かそうコーディネート力

第1節 これぞ、コーディネート力

1. コーディネートは「共感づくり」から始まる 140
2. コーディネートは「関係づくり・連携づくり」 144
3. コーディネートは「人脈づくり」 148

第2節 伸ばせ、コーディネート力

1. コーディネーターが身につけたい「ポジティブマインド」 154
2. コーディネーターの「4つのメソッド」 158
3. コーディネーターの「3つのワーク」 162
4. コーディネーターの「モチベーションスキル」 166
5. コーディネーターの「発想力」と「構想力」 170

第3節 生かせ、コーディネート力

1. 会議・研修・イベント……タイプ別「コーディネートスタイル」 176
2. 説得力を生む「プレゼンテーションの技術」 180
3. コーディネーターの「自分マネジメント」のすすめ 184

資料編

- 知っておきたい「まちの社会資源・インフォーマルセクター」 190
- 知っておきたい「行政機関」と「連携施設」 193
- 知っておきたい「諸資格・任用資格」 196
- 知っておきたい「諸団体・NPO」 199
- 知っておきたい「制度・法律」等 200
- 「グラントファミリー法」ほか 204
- 「4つの事例」でグループワーク 206

あとがき 211

本書の構成

- ◎整理された内容
- ◎わかりやすい図解
- ◎グループワークのテーマを明示



(プラス・アルファ)

- ◎用語解説
- ◎ミニ知識
- ◎事例・コラム



実践

ナルホドと理解に
役立つミニ知識

むずかしい用語を
やさしく解説

整理された内容

わかりやすく
図解化

事例やコラムで
理解を深める

グループワークで行う3つの課題を明示

